



宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.49

令和5年12月8日

文責：校長 伊藤 孝行

5・6年生海老根和紙紙漉きに挑戦。

海老根和紙ができるまでプロジェクトの最後は、今まで育ててきた楮やトロロアオイの繊維から作った紙料液から和紙にしていって紙漉きです。



6年生が漉いた海老根和紙は、卒業証書に生まれ変わります。自分の卒業証書の紙を自分で作るという素晴らしい体験は、宮城地区の子どもたちだからこそ出来るものです。

ヒップホップダンス教室を開きました。

昔、体育のダンスと言えば、フォークダンスでしたが、時代が変わった現代では、子どもたちに

人気のあるヒップホップダンスです。

講師の大越先生は、宮城小学校で長くご指導をいただいている先生で、子どもたちのこともよく知っている素敵な先生です。



大越先生のご指導で、1年生から6年生、先生方もステップを練習し、たくさん汗をかきました。

次回は1月19日（木）の予定です。また、楽しく踊りたいと思います。

MEM学校保健委員会を開催しました。

学校医の矢内先生を講師にお迎えし、宮城小中、海老根小の関係者が集まり、子どもたちの健康について話し合う学校保健委員会を開催しました。



今回は、「子どもたちの視力の低下」が心配されるということが話題になりました。現在、宮城小では46%の子どもたちが眼鏡を使用しています。スマホやタブレットの利用だけが視力の低下原因ではないと思います。大事な「目」ですので、積極的に眼科を受診することをお勧めします。

82年前の今日、太平洋戦争が始まりました。

1941年12月8日、日本がアメリカやイギリスなどと戦う太平洋戦争が始まりました。1941年8月15日に終戦を迎えるまで、約310万人の日本人が亡くなり、世界全体では、約5500万人もが亡くなっています。戦争が始まればおとなも子どもも関係なく命を亡くすことになります。今日の日をきっかけに平和について考えてみませんか。